

令和2年度  
(令和2年4月～令和3年3月)

# 環境活動レポート

令和3年5月25日

九州クリーン工業株式会社

# 環 境 経 営 方 針

当社は、汚水処理事業を通じて美しい水と澄んだ空気と人間の調和を理念とし、地球環境へ配慮した企業活動を目指します。

1. 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして継続的に取り組みます。

- (1) 車両燃料の節減や省電力による二酸化炭素排出量の削減
- (2) 廃棄物排出量の削減
- (3) 水使用量の削減
- (4) グリーン購入の推進
- (5) 地域貢献活動の推進
- (6) 受託事業発注者へ省エネや原価低減の提案

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

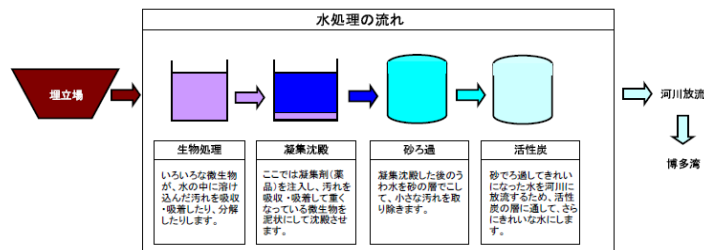
平成 31 年 4 月 1 日 改定  
九州クリーン工業株式会社

代表取締役 松本 誠

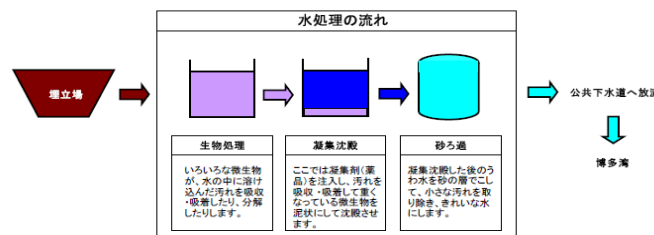
# 1. 組織の概要

1. 事業所名 九州クリーン工業株式会社
- 代表者氏名 代表取締役 松本 誠
2. 所在地 〒811-1122 福岡県福岡市早良区早良七丁目1番26号
3. 環境管理責任者 専務取締役 鳴海賢治
- 担当者氏名 専務取締役 鳴海賢治
- 連絡先 TEL 092-403-3010 FAX 092-403-3012
- E-mail n.kenji@kyusyukuri-n.com
4. 事業の内容 汚水処理場、運動施設、資源化施設、運動広場の維持管理業務。東部事業所、西部事業所、東部資源化事業所、西部資源化事業所、東部運動施設は、福岡市からの委託事業で福岡市の管理下にあるので、取組範囲に含めて環境保全に取り組んでいるが、関連事業所とはしていないが、従業員は含めている。  
(対象とする組織は、本社のみであるが、活動は全事業所で行っている。)  
産業廃棄物収集運搬業・浄化槽保守点検業・建築物環境衛生総合管理業の許可取得(上記は業として行っていない)
5. 汚水処理工程 基本的処理工程は、生物処理→凝集処理→高度処理→放流(下水・河川)であるが、詳しくは下記URLを参照

西部汚水処理場 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/1196/1/222.pdf>



東部汚水処理場 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/1196/1/444.pdf>



## 6. 事業の規模

	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
売上高	百万円	—	—	—
従業員数	人	49	46	46
床面積	m <sup>2</sup>	373	373	373

:売上高は委託料による

## 7. 実施体制



## 2. 環境目標とその実績

### 2.1 目標の達成状況

過去の環境負荷実績及び、運用期間(H31年4月～R2年3月)の目標と実績は、以下の通りである。

環境目標	単位	目標・実績	H31年度	取り組み事業所
二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	目標	72,214以下	全社内合計
		実績	736,092	
		目標	22,294以下	本社
		実績	22,489	
		目標	3,521以下	東部事業所
		実績	3,660	
		目標	3,989以下	西部事業所
		実績	3,006	
		目標	36,132以下	東部資源化事業所
		実績	38,431	
		目標	5,993以下	西部資源化事業所
		実績	5,506	
廃棄物排出量の削減	kg	目標	236以下	全社内 但し本社のみ実績把握
		実績	327	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	目標	64以下	全社内 但し本社のみ実績把握
		実績	77	
グリーン購入推進	品目	目標	14品目以上	本社
		実績	14	
地域貢献活動推進	回/年	目標	26	本社 東部、西部事業所
		実績	26	
省エネや原価低減の提案	件/年	目標	2	東部、西部事業所
		実績	2	

・地域貢献活動は、本社 12回/年、東部事業所 2回/年、西部事業所 12回/年である。

・省エネや原価低減の提案は、東部事業所 1件/年、西部事業所 1件/年である。

・電力量・廃棄物排出量・水使用量・グリーン購入に関しては、本社のみしか実績は収集できない。

・電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2018年度調整後排出係数0.347kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。

・各事業所での当社の把握できる環境負荷は、当社の持ち込み車両からの二酸化炭素の排出量のみである。

本社：自動車4台

東部事業所：軽トラック2台、ダンプ1台 西部事業所：軽トラック1台、ダンプ1台、2tトラック1台

東部資源化事業所：軽トラック1台、ダンプ1台、ホークリフト2台、ホイローダ1台、スーパー1台

西部資源化事業所：パッカー車1台、ホークリフト1台

・当社では化学物質の削減を目標にすることは事業実態から考えてふさわしくありませんので、削減目標としていません

## 2. 2今年度の目標

環境目標	単位	目標値 削減率	H29年度 実績値	R2年度	取り組み事業所
二酸化炭素 排出量削減	kg -CO <sub>2</sub>	目標値	72,943	71,484 以下	全社内合計
		削減率		2%	
		目標値	22,519	22,069 以下	本社
		削減率		2%	
		目標値	3,557	3,486 以下	東部事業所
		削減率		2%	
		目標値	3,937	3,858 以下	西部事業所
		削減率		2%	
		目標値	36,497	35,767 以下	東部資源化 事業所
		削減率		2%	
		目標値	6,054	5,933 以下	西部資源化 事業所
		削減率		2%	
廃棄物排出量 の削減	kg	目標値	238	233 以下	全社 但し本社 のみ実績把握
		削減率		2%	
水使用量 の削減	m <sup>3</sup>	目標値	65	64 以下	全社 但し本社 のみ実績把握
		削減率		2%	
グリーン購入 推進	品目	目標値	13	15品目以上	本社
		増加数		1品目	
地域貢献 活動推進	回/年	目標値	26	26回	本社 東部、西部事業所
省エネや原価 低減の提案	件/年	目標値	2	2件	東部、西部事業所

備考：％は、H29年度の実績を100として何％を削減するかを示す。

：地域貢献活動は、本社12回/年、東部事業所2回/年、西部事業所12回/年である。

：省エネや原価低減の提案は、東部事業所1件/年、西部事業所1件/年である。

## 2.2 次年度以降の目標

環境目標	単位	目標値 削減率	H29年度 実績値	R3年度	R4年度	R5年度	取り組み事業所
二酸化炭素 排出量削減	kg -CO <sub>2</sub>	目標値	72,943	70,755 以下	70,025 以下	69,296 以下	全社内合計
		削減率		3%	4%	5%	
		目標値	22,519	21,843 以下	21,618 以下	21,393 以下	本社
		削減率		3%	4%	5%	
		目標値	3,557	3,450 以下	3,415 以下	3,379 以下	東部事業所
		削減率		3%	4%	5%	
		目標値	3,937	3,819 以下	3,780 以下	3,740 以下	西部事業所
		削減率		3%	4%	5%	
		目標値	36,497	35,402 以下	35,037 以下	34,672 以下	東部資源化 事業所
		削減率		3%	4%	5%	
		目標値	6,054	5,872 以下	5,812 以下	5,751 以下	西部資源化 事業所
		削減率		3%	4%	5%	
廃棄物排出 量の削減	kg	目標値	238	231 以下	228 以下	226 以下	全社 但し本社 のみ実績把握
		削減率		3%	4%	5%	
水使用量 の削減	m <sup>3</sup>	目標値	65	63 以下	62 以下	62 以下	全社 但し本社 のみ実績把握
		削減率		3%	4%	5%	
グリーン購入 推進	品目	目標値	13	16品目以上	17品目以上	18品目以上	本社
		増加数		1品目	1品目	1品目	
地域貢献 活動推進	回/年	目標値	26	26回	26回	26回	本社 東部、西部事業所
省エネや原価 低減の提案	件/年	目標値	2	2件	2件	2件	東部、西部事業所

備考：％はH29年度の実績を100として何％を削減するかを示している。

：地域貢献活動は、本社12回/年、東部事業所2回/年、西部事業所12回/年である。

：省エネや原価低減の提案は、東部事業所1件/年、西部事業所1件/年である。

### 3. 主要な環境活動計画の内容

#### 3.1 二酸化炭素排出量削減のための取組 基本年度に比べて2%削減

取り組み事業所(本社・東部事業所・西部事業所・東部資源化事業所・西部資源化事業所)

##### (1) ガソリン使用量の削減

- ① アイドリングストップを実行 担当:鳴海
- ② 急発進・急加速をなくす 担当:鳴海
- ③ エコドライブの実行 担当:鳴海

##### (2) 軽油使用量の削減

- ① アイドリングストップを実行 担当:鳴海
- ② 急発進・急加速をなくす 担当:鳴海
- ③ エコドライブの実行 担当:鳴海

#### 3.2 電力使用量の削減のための取組 基本年度に比べて2%削減

取り組み事業所(本社)

- ① 節電活動の推進 担当:佐護

#### 3.3 廃棄物排出量削減のための取組 基本年度に比べて2%削減

取り組み事業所(本社)

##### (1) コピー用紙使用量削減

- ① 両面コピーの徹底 担当:天神林
- ② 無駄な印刷をなくす 担当:天神林
- ③ Eメールの活用 担当:佐護

##### (2) その他の廃棄物の削減

- ① 廃棄物の分別の徹底 担当:上田

#### 3.4 水使用量削減のための取組 基本年度に比べて2%削減

取り組み事業所(本社)

- ① 節水活動の推進 担当:上田

#### 3.5 グリーン購入推進

取り組み事業所(本社)

- ① グリーン商品購入の推進 担当:天神林

#### 3.6 地域貢献活動の推進

取り組み事業所(本社・東部事業所、西部事業所)

- ① 会社周辺の清掃活動 担当:鳴海

### 7 受託事業発注者へ省エネや原価低減の提案

取り組み事業所(東部事業所、西部事業所)

- ① 省エネや原価低減の提案 担当:國崎(東部)・塚本(西部)

## 4. 次年度の環境活動計画の内容

### 1 二酸化炭素排出量削減のための取組 基本年度に比べて3%削減

取り組み事業所(本社・東部事業所・西部事業所・東部資源化事業所・西部資源化事業所)

#### (1) ガソリン使用量の削減

- ① アイドリングストップを実行 担当:鳴海
- ② 急発進・急加速をなくす 担当:鳴海
- ③ エコドライブの実行 担当:鳴海

#### (2) 軽油使用量の削減

- ① アイドリングストップを実行 担当:鳴海
- ② 急発進・急加速をなくす 担当:鳴海
- ③ エコドライブの実行 担当:鳴海

### 2 電力使用量の削減のための取組 基本年度に比べて3%削減

取り組み事業所(本社)

- ① 節電活動の推進 担当:佐護

### 3 廃棄物排出量削減のための取組 基本年度に比べて3%削減

取り組み事業所(本社)

#### (1) コピー用紙使用量削減

- ① 両面コピーの徹底 担当:天神林
- ② 無駄な印刷をなくす 担当:天神林
- ③ Eメールの活用 担当:佐護

#### (2) その他の廃棄物の削減

- ① 廃棄物の分別の徹底 担当:天神林

### 4 水使用量削減のための取組 基本年度に比べて3%削減

取り組み事業所(本社)

- ① 節水活動の推進 担当:天神林

## 5 グリーン購入推進

取り組み事業所(本社)

- ① グリーン商品購入の推進 担当:天神林

## 6 地域貢献活動の推進

取り組み事業所(本社・東部事業所・西部事業所)

- ① 会社周辺の清掃活動 担当:鳴海

## 7 受託事業発注者へ省エネや原価低減の提案

取り組み事業所(東部事業所・西部事業所)

- ① 省エネや原価低減の提案 担当:國崎(東部)・塚本(西部)



## 5. 環境活動の取組結果の評価 R2年度

エコアクション21を運用した令和2年4月～令和3年3月における目標に対する実績はつきとおりであった。

$$\text{目標達成率} = \left[ \frac{(\text{目標値} - \text{実績値})}{\text{目標値} + 1} \right] \times 100$$

目標	単位	平成29年度 実績	令和2年度 目標	令和2年度 実績	目標 達成率	目標達成 評価
二酸化炭素排出量削減(全社)	kg-CO <sub>2</sub>	72,943	71,484 以下	68,828	103.7 %	○
本社		22,519	22,069 以下	16,778	124.0 %	○
東部事業所		3,557	3,486 以下	3,520	99.0 %	×
西部事業所		3,937	3,858 以下	4,200	91.1 %	×
東部資源化事業所		36,497	35,767 以下	35,512	100.7 %	○
西部資源化事業所		6,054	5,933 以下	8,815	51.4 %	×
ガソリン使用量の削減(全社内)	リットル	10,645	10,432 以下	7,968	123.6 %	○
本社		7,332	7,185 以下	4,843	132.6 %	○
東部事業所		1,443	1,414 以下	1,445	97.8 %	×
西部事業所		1,038	1,017 以下	1,079	93.9 %	×
東部資源化事業所		832	815 以下	600	126.4 %	○
西部資源化事業所		0	0 以下	0	- %	-
軽油使用量の削減(全社内)	リットル	16,139	15,816 以下	17,069	92.1 %	×
本社		0	0 以下	0	%	-
東部事業所		79	77 以下	63	118.6 %	○
西部事業所		582	570 以下	646	86.7 %	×
東部資源化事業所		13,171	12,908 以下	13,001	99.3 %	×
西部資源化事業所		2,307	2,261 以下	3,359	51.4 %	×
電力量の削減(本社)	kWh	14,628	14,335 以下	15,745	90.2 %	×
廃棄物排出量の削減(本社)	kg	238	233 以下	278	80.8 %	×
水使用量の削減(本社)	m <sup>3</sup>	65	64 以下	69	91.7 %	×
グリーン購入の推進	品目	12	15 品目以上	15	100.0 %	○
地域貢献活動の推進	回/年	26	26 回/年	26	100.0 %	○
省エネや原価低減の提案	件/年	2	2 件/年	2	100.0 %	○

### 5.1 二酸化炭素排出量削減

全体でのガソリン使用量が削減された影響による達成。

### 5.2 電力量の削減

エアコン・電気ストーブでの使用のために達成できなかった。

### 5.3 廃棄物排出量の削減

書類等が増えたために達成できなかった。

### 5.4 水使用量の削減

洗車等での使用が多かったために達成できなかった。

### 5.5 グリーン購入の推進

本社の社用車でエコ車を購入した。

### 5.6 地域貢献活動の推進

会社周辺の清掃活動

本社 12回/年、東部事業所 2回/年、西部事業所 12回/年

### 5.7 省エネや原価低減の提案

東部事業所1件/年、西部事業所1件/年

・東部事業所： エアコンの使用をなるべく控える

・西部事業所： 事業所に近い人は自転車を使用

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法律	要求事項	適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守	適
	産業廃棄物処理の義務	適
	保管基準の遵守	適
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	管理票(マニフェスト票)の交付	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの保存期間	適
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	適
	管理票(マニフェスト票)の送付、回付	適
	管理票(マニフェスト票)の虚偽の交付等の禁止	適
	帳簿の備え、保存	適
	帳簿記載事項	適
	収集・運搬車両及び方法	適
	変更の許可	適
	許可の更新期間	適
	名義貸しの禁止	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
	報告の徴収	適
福岡県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	処理実績報告の提出	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	使用の制限	適
	適応除外	適
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針	適
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	自動車の所有者の責務	適
	使用済自動車の引渡義務	適
	再資源化預託金等の預託義務	適
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検・定期点検	適
	エアコン廃棄の際の引渡	適
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	事業者及び消費者の責務	適
	料金の請求	適

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係者機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 7. 代表者による全体の取り組み状況評価及び見直しの結果

本年度は、本社、東部資源化事業所だけ二酸化炭素排出量の削減が達成になり、他の事業所は未達成であった。東部と西部事業所はコロナの影響もあり、従業員個々の作業量が増えて車両稼働率が増えた可能性もあると思われる。また、西部資源化事業所は東部工場の火災等での影響がまだ続いているため、未達成したと思われる。そして、社員の意識の向上は年々浸透しているが、仕事量が増えていることから車両の稼働率が上がっているために未達成になると思われる。また、現場は、福岡市が進めている ISO14001 に従った環境活動と自社の省エネ手順書にそって取り組んでいる。本社においては、廃棄物排出量と水使用量、電気使用量が達成できなかった。電気使用量は夏と冬のエアコンの使用効率方法の検討が必要であり、もう少し節電の意識向上を推進していこうと思う。また、今年度はコロナで本社は車両稼働率が削減したが、通常に戻った時にしっかり気を引きしめて削減に努める必要がある。

各事業所はこれまで通り目標達成に向かって頑張って環境活動に取り組んでいきます。

九州クリーン工業株式会社

代表取締役 松本 誠